

## 第14回行政改革推進委員会（会議メモ）

### 出席者

#### 【委員】

- ・熊崎 徹三（下呂） ・松山 則樹（萩原） ・野口 博二（萩原）
  - ・河尻 和憲（金山） ・田口 洋子（下呂） ・今井 實郎（萩原）
- 欠席： ・早子 雅司（小坂） ・千田 文重（金山） ・大前 保彦（馬瀬）  
・石原 郁夫（小坂） ・松嶋千恵美（下呂） ・中島 洋三（下呂）

#### 【執行部】

- ・市長 ・助役 ・総務部長

#### 【事務局】

- ・行政改革推進室長外2名

### 会議メモ

#### 1、開会あいさつ（会長）

昨年9月に第1回の委員会を開催し、様々な活動をしてきた。

2月には推進委員会として、30の提言をした。

3月には行政改革大綱の諮問を受け、度重なる協議を経て、3月31日には答申をした。

今後は、行革の進捗状況を確認しながら行政改革を推進してゆきたい。

#### 2、市長あいさつ

- ・市の行政改革に対し、さまざまな提案をいただき感謝している。
- ・合併後の大きな課題は行政改革であり、議会でも毎回質問をされる関心の高いものである。単なる庁舎内の改革にとどまらず、自治体全てを改革していくものである。
- ・進める方向は小さな政府である。民のことは民に任せ、効率的にすることで行政サービスを向上させなければならない。
- ・最大の経費である人件費は節減、すなわち職員数を減らすのが、それに反比例し市民からの行政ニーズは増大する一方である。そのギャップを埋めるのが民間の力、企業、NPO等である。今後は行政ニーズに応えるために民間の力が不可欠である。こういった考えから保育園や老人ホームの公設民営化を進めている。
- ・組織改革については、職員が減少する中、職員のモチベーションを低下させない取り組みをする。
- ・大綱に対する答申をいただいたので、今後は別の形で行政を指導していただければ幸いである。

#### 室長より分科会等の活動報告

- ・サービス向上委員会： 待遇マニュアルができた。後日職員に周知する予定である。
- ・消防分科会： 消防団統合の調整をしている。
- ・組織分科会： 今年4月のステップ1に続くステップ2の取り組みをしている。職員の意見をまとめながら14回の協議をしてきた。
- ・人事給与分科会： 給与の是正が進んできた。
- ・委託分科会： 全ての委託契約について見直しを進めているが、できるものから取り組んでいる。
- ・諸事業分科会： イベント実施の基本原則をまとめ、それにしたがったイベントの実施を求めている。夏まつりに伴う歓迎レセプションを1ヶ所でまとめて行うことにした。
- ・職場環境分科会： ゴミのリサイクルと地球温暖化防止を進めるため、分別収集を10月1日から始めた。
- ・意識向上分科会： 10月27日には昨年に引き続き職員研修会を企画した。委員の方にもご案内するのでぜひ聴講してください。

#### 市民の目から見た行革の進捗状況

- ・熊崎： 職員の対応が良くなった。あいさつや目礼がきちんとできるようになった。
- ・今井： 職員の意識改革が進んでいると思った。枯れた花が放りっぱなしということもない。
- ・野口： 今、地元の区長をしているが、職員の対応が素早い。できないものについてはその理由も明確にしてくれる。

- ・ 田口 : 受付の感じがよくなった。制服がなくなって個性を発揮できるという面もあると思うが、家にいるときや遊びに行くときと同じような服装もみられ、少しくだけすぎと思うことがある。
- ・ 田口 : 「健康保養温泉地づくり実行委員会」というボランティアで温泉美容体験を企画し、市の後援をお願いしたが断られた。市民と業界が協力したのであとは行政の協力であるが、断られて残念である。
  - 市観光商工部では理由もなく、できないから観光協会へ行けと言われた。
  - 観光協会では、特定の旅館を支援することはできないと断られた。
  - 市のために一生懸命やっており、支援してもらえないのは残念である。
  - 何らかの事情があったと思うが、まちのためになるなら応援したい。もう一度内部で検討してみる。

### 3、協議事項

#### (1) 今後の委員会の運営について

- ・ 行政改革大綱の実施計画が2月には完成する予定である。2月に実施計画について検討し、意見を述べるものとする。
- ・ 市民の代表である行政改革委員として行政改革に対する情報を収集して発表する。